

小松同窓会 記念館特別展
「オクヤナオミ」展

(奥谷直巳／中学44回卒)



「輝く気体の結晶微塵－その3」

会 場 小松高校 記念館特別収蔵庫
校舎ギャラリー

会 期 令和7年10月6日(月)～11月1日(土)

開館時間 10:00 ～ 15:00

休 館 日 土・日・祝日 ※ 11月1日(土) 開館

休館日に観覧ご希望の場合は、出来るだけ対応させていただきますので、
同窓会事務局(0761-21-6330)までお問合せください。

小松同窓会 記念館特別展

「オクヤナオミ」展

(奥谷直巳／中学44回卒)

記念館委員会では、本年度の小松同窓会記念館特別展として、「オクヤナオミ」展（奥谷直巳／中学44回卒）を開催します。

奥谷氏は、疎開中の宮本三郎との美川海岸での出会いをきっかけに、金沢美術工芸専門学校（現・金沢美術工芸大学）油画科の第一期生として入学しました。昭和25年に卒業した後、昭和40年に渡欧し、パリに在住しながら制作活動を展開。フランスを中心に、ヨーロッパ各国の国際美術展や版画展などで作品を発表され、高い評価を受けられました。昭和57年までの渡欧生活の後、帰国後は、東京を拠点として活動し、故郷の石川では、小松市立本陣記念美術館「対角線上の異邦人」（平成11年）、同美術館「現代美術の行方」（平成17年）、小松市立宮本三郎美術館「宮本三郎とオクヤナオミ」（平成24～25年）などの展覧会を開催しました。著書には、『対角線上の異邦人』（水星社／平成15年）、『余白は芸術に関係がないーが、ひとつのフォルムである。』（水声社／平成20年）があります。

本展は、記念館特別収蔵庫と校舎ギャラリーを会場に、令和2年に逝去された奥谷氏の追悼展として、「化石を含む明晰」（芸術家たちへのオマージュ作品集・12点）などの版画作品、アクリル画・油彩画を展観します。また、金沢美術工芸専門学校の同期生である鴨居玲氏が、パリ在住時（昭和41年）に、奥谷夫妻を描いた肖像画（スケッチ・2点）も展示を予定しています。

在校生たちは、鋭敏な理性と知性、そして、感性を働かせて、オクヤ作品に秘められた「数学」と「言語」を読み取り、「色」と「形」のハーモニーを心豊かに感じ取ってくれることと思います。同窓生の皆様には、お誘いあわせのうえ、是非ご来校いただき、記念館特別展「オクヤナオミ」展をご高覧くださいませようご案内を申し上げます。

文責／記念館委員会副委員長・安田淳（高校31回卒）